



No.7 2000.11  
合資会社 東栄松商店

2001年の

酒造りが決まりました。

今年の出荷はお陰様で順調でした。特に冷酒関係は、大吟醸・純米大吟醸は一〇%、本生吟醸酒約一五%増となりましたが、清酒本来の燗酒は八%の減となり、清酒の将来の消費動向が想定できる様です。今年も昨年同様吟醸酒の製造のみの予定です。しかし、日本酒はやはり伝統ある燗酒を大事にしたいと



思っています。特別においしく、飲みやすい酒が造れないものと杜氏と頑張るつもりです。どうぞ新しい燗酒を御期待下さい。

### 「創業100年の顕彰」を受けました。

創業時の確かな文献や資料は何も残っていませんが（昭和11年蔵家失火）口伝えによると万延元年と伝えられております。江戸時代から明治までは幕府や各藩では酒造株を設定に酒屋を管理して酒役銀（税金）を徴収していました。加賀藩史の中では天保年間までの小松の造り酒屋の名前があり株数や造り高が記録されています。

その中には自家の名前はありませぬ。当店の創業者といわれる源右衛門は弘化4年には米を91石2斗の自作農であり、記録には加能史「品々帳」にも記載されているように大きな農家であり、余り米で酒造りを初めた兼業農家の創業だと思われませぬ。その後万延から慶応年間には酒造株や他地域から米の購入が自由となり、各地に酒屋が誕生したものと思われませぬ。明治10年の小松史には、当家庭では75石造りとの記録があり、万延の創業とすると現業で146年前となります。

この度小松商工会議所では

「創業100年企業の顕彰」で10月30日に当店も顕彰されました。今後も創業者の精神と努力を受け継ぎ、次世代へ伝える義務だと考えております。

### イベント情報

#### 桂松庵だより

今年の猛暑で庭の苔は大分傷みました。しかし、10月に入り少しずつ回復、苔の新芽が出て来ています。今冬には元の風情のもどる様です。さて、10月に入り多くの方々がお見え頂き、またにぎわいが戻って来ました。さて、来春のスケジューリングは、次の様に予定しておりますので、ぜひ御参加をお願いいたします。

#### 2月10日(土)フドピア会

今年のゲストは東てる美さんに決定致しました。今年も定員30名です。毎年、早々と満席になっていきますので、御希望の方は早めに小松商工会議所「フドピア金沢係」までお願いします。

#### あらはりの会 3月上旬

#### 茶会と懷石で日本酒の出会い

楽しむ会 4月上旬

新酒まつり 40名(定員)一般及び神泉の会会員様 5月上旬

酒蔵開放 2月15日～3月15日まで酒蔵開放します。(一週間前の予約をお願いします)



10月21日に神泉の大吟醸「のみきりの会」として開催しました。今回は70名ほどが参加され、ゲストの魯大鳴さんの京舞を堪能しました。

魯大鳴さんは京劇と能で演じる二つの世界「揚貴妃」というタイトルを玄宗皇帝と揚貴妃を描く長編詩「長恨歌」(白楽天)を構成の基本にし、中国と

日本、それぞれの伝統演劇により、千年を越えて現代に通ずる世界を表現する新しい試みを石川県立能楽堂でも演じられた方です。(十月十七日)

### お願い

小松の「食べ処、飲み処」御紹介タウン情報誌の小松食べ処、飲み処の御紹介を平成12年10月迄で20店となりました。今後も出来るだけ御紹介を続ける予定ですがおいしいお店、ユニークなお店をお知らせいただければスペースに余裕出来ましたら掲載したいと思っております。最終的には小松飲み処のマップを作りたいと思っています。今までに御紹介した小松の食べ処、飲み処は次の通りです。

- ゲラ 万夢楽 岡田
- はまだ 小六庵 せん味
- やつちゃん 梶助 まつ家
- つかさ 志の助 長寿庵
- 任田家 きたむら なかの
- 竹の家 南月 つづら
- 秀寿司 三味耶 (敬称略)

### 特別大吟醸 太初



「神泉特別大吟醸 太初」は6月下旬に発売いたしました。好評で10月で完売しました。ありがとうございました。 「大吟醸 太初」は人間国宝、徳田八十吉先生にご命名いただき、原料米は厳選された酒造好適米「山田錦」を使用しました。貴重なお酒でした。少量ですが、来年も醸造予定しております。販売は5月頃の予定です。